



わだい ぞくぞく

うれしい話題が続々と

最近楽しい話題やうれしい話題がたくさんありますので紹介します。



一緒に歩いてゴミひろいをしながら登校する3年生たち。
 上原ようさんは「ゴミをひろうのがたのしい」
 上間みひろさんは「最近あまりゴミがおちていないんだよ」と。みんながきれいにしてくれるからゴミがへったんだね。ありがとう～

5/19(金)に6年生が全クラスで読み聞かせをしました。
 テーマは「ヤギ」。各学年にあった絵本を6年生が選んで読み聞かせをしました。
 6年生ありがとう～



沖縄タイムスにのりました～
 左5/22 右5/23



今帰仁兼次小 絵本モデルのヤギ飼育

ヤギと触れ合う兼次小小学校の子どもたち＝12日、今帰仁村・同校

この日は、上間校長が同「ヤギのキラレキララ」校卒業生の仲村清光さん（名護市）が作成した絵本「ヤギの親子」が読まれた。は興味津々な様子だった。（赤嶺幸代通信員）

読み聞かせ終了後、上間校長が「この絵本を読んで、ヤギを飼うことに決めました」と宣言する姿、みんな大喜びしていた。

絵本に登場する「キラレキララ」のモデルになったヤギとその赤ちゃんを、仲村さんが同校寄贈したことで実現した。上間校長が肥料置き場に小屋を設置、雨風をしのぎ、低学年でも餌があげられるよう足場を作るなど工夫した。

放課後、待望のヤギがお目見え。「ヤギだ！ヤギが来た！」と、子どもたちの歓声が響き渡った。2頭を代わる代わるなど抱きしめたりする子どもたち。「かわいい」「温かい」とさまざまな反応を見せていた。中には「ヤギ刺し食べたい」という声も。

家でもヤギを飼っている5年生の早瀬森さんは「この草はヤギの大好物なんだよ」と同級生に教えていた。

子ヤギには、まだ名前が付いていない。児童会が名前を決め方を検討中だ。

校内には「通日メエ」と元気な鳴き声が響き、ヤギと子どもたちの物語が紡がれている。

校長×エッセイ児童沸く



綱引きや遊び 児童ら楽しむ
 兼次小春の遠足

【今帰仁】兼次小学校上間久仁校長は2日、今帰仁村の与那嶺公民館前広場で、春の遠足と1年生を迎える会を行った。学校からは広場まで約2時。6年生は1年生と手をつなぎ、児童と職員は往復の道のりを元気に歩いた。

企画会は6年生が担当した。縦割り班に分かれて、さまざまな遊びを楽しんだ。広場には、沖繩の名木百選に認定された樹齢約120年のアカギの大きな木が鎮座。木陰の下で児童や職員らが涼を取った。

3年生の上原耀さんは「綱引きが一番楽しかった」と話し、伊藤アレイさんは「弁当タイムが楽しくて、おいしかった」と笑顔を見せた。（赤嶺幸代通信員）

紙面編集・宮城優